

優良建設工事表彰 表彰事例

静岡土木事務所

部 門	優良工事
工 事 名	令和5年度〔第34-S0803-01号〕 安倍川支川油山川災害関連緊急砂防工事（堰堤工その1）
工 期	令和5年9月16日 ～ 令和7年2月28日
工 事 概 要	砂防堰堤 N=1基 砂防ソイルセメント堰堤本体工 N=1式 h=12.0m、W=49.50m、V=1,515m ³ 製堰堤本体工 W=31.4t
受 注 者 名	伸栄建設（株）
技 術 者 名	こばやしひろゆき 小林裕幸
推 薦 理 由	本工事は、静岡市葵区油山地先において、令和4年度に土石流災害が発生したため、早急に砂防堰堤を整備したものである。受注者は、その後の豪雨等により度々土砂が流入する厳しい工事環境の中、現場作業の安全を確保する施工方法や創意工夫により、無事故で工事を完成させた。これらの取り組みが他の模範となるものであるため、部長表彰の優良工事部門に推薦する。 ① ICTの活用 堰堤左岸側は急勾配の法面であることから、掘削にあたり綿密な施工計画が必要であったため、「レーザースキャナー」を活用した。施工中は「自動追尾光波」と「杭ナビのどこでも丁張」を使用し、狭隘な現場において省人化施工に努めることで、安全性の確保や工期の短縮を図った。これらの取り組みに関しては、合同パトロール時に受注者より説明していただいたが、参加していた労働基準監督署職員より、安全対策に関し高評価を受けた。 ② 地域貢献に関する取組 工事の進捗状況を、看板、ホームページ、ライブカメラ配信、現場見学会などで地域住民に分かりやすく周知した。特にライブカメラ配信は大雨の際に河川状況を随時確認することができるため、地元住民に大変感謝された。 ③ 安全対策に関する取組 現場が狭隘であり、重機による掘削の際にオペレーターから周囲状況が見えにくいため、作業員の安全確保としてヘリマシステム※を活用し、接触事故の防止に努めた。 ※ヘリマシステム：重機旋回範囲にセンサーを装着した作業員が入るとオペレーターと作業員に信号灯とブザーで危険を知らせるシステム

写 真 等

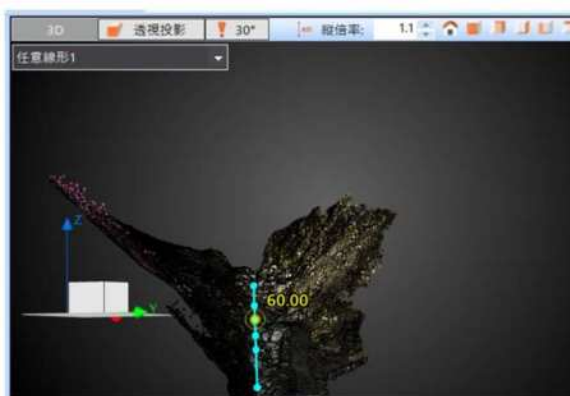
【施工前】



【完 成】



① ICTの活用



② 地域貢献に関する取組（現場看板・ライブカメラ）



③ 安全対策に関する取組

